

工業部会長報告

1. 会議名 第20回ものづくり技術連携交流会
2. 日時 2022年8月29日（月） 17：30～18：30
3. 場所 ホール80
4. 出席者 20名
5. 情報提供 (1)秋田ファイブワン工業(株)
取締役会長 佐賀 善美 氏

(2)(株)秋田テクノデザイン
代表取締役 伊藤 毅 氏

【企業概要】

- ・ 昭和50年2月設立の紳士服・婦人服製造加工を主業とする縫製業。
- ・ 多品種小ロット加工製品の製造を特色とし、主に首都圏へ販売している。

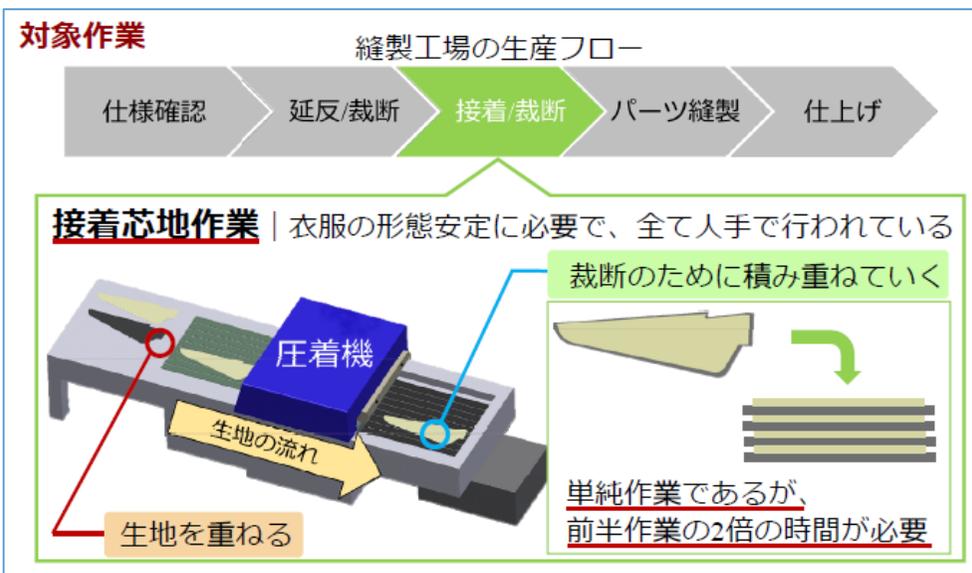
【現状】

- ・ **縫製業界の人手不足は深刻**であり、コロナ禍で繊維工業従事者の減少が加速した。
- ・ ヒューマンファクトリーである**縫製工場の省人化は、生産性向上を図るうえで課題**となっている。
- ・ また、業界全体で自動化への取組みが他産業より遅れていることから、研究開発から取り組む必要性がある。

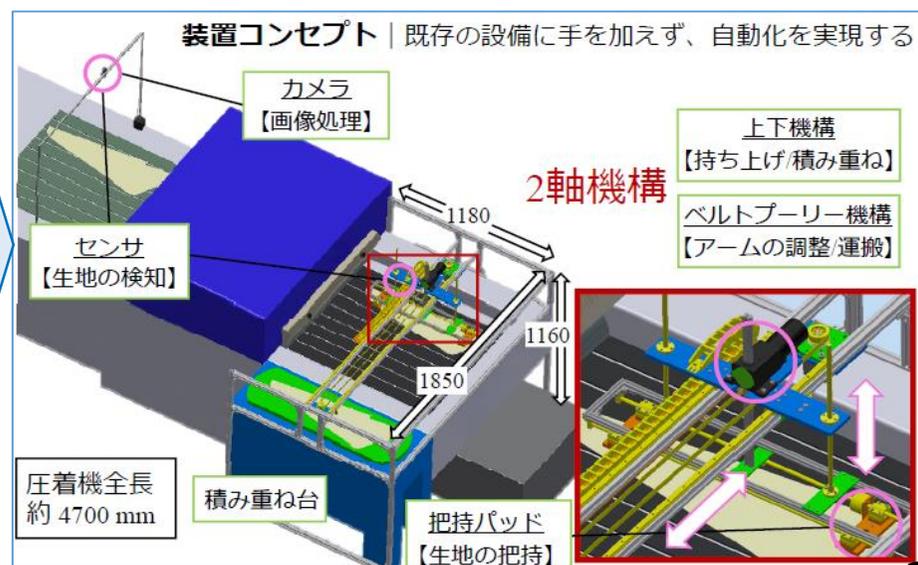


【取組み】

- ・ **裁断時における接着芯地作業の自動化する装置を開発し、生産性を向上させる。**
- ・ 多種多様な生地への対応や人手作業による補正は、画像処理を用いて装置を制御し、生地重心と傾きを求めて補正する。
- ・ **研究開発には、秋田大学と連携した取組みを進めており、2022年中の試験稼働の目途が立っている。**



自動化装置の開発



【企業概要】

- ・平成20年4月設立の回路・基板設計を主業とする電子部品等製造業。
- ・回路等の受託設計のほか、介護製品を自社開発している。

【取組の紹介】

- ・ **ワイヤレス排泄感知システム「しらせるぞう」を開発し、介護現場での排泄管理に寄与している。**
- ・ 開発の背景は、介護ロボット宮城県協議会から打診があり、着手前の調査段階で現場の実情を知り使命感に駆られたことから、取組みを開始した。
- ・ 本製品は**介護現場の排泄管理の適正化に繋がるとともに、無駄な交換を防止**することで廃棄コスト削減が図られる。



【性能】

- ・ 使い捨てタイプの排泄感知センサーをオムツへ装着し、**排尿時の電氣的成分から排泄を感知**し、**排尿量等を測定**することが可能。
- ・ 測定した排泄情報はWifiでパソコンやスマートフォンに送信され、**グラフ化した情報により対応の迅速化へと繋がっている**。
- ・ 各施設での使用データを蓄積し、今後、各種センサーに対するシステムの連携等の拡張を図る計画としている。

